

事業報告（平成6年度）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 京都市立芸術大学芸術資料館 公開日: 2022-11-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15014/00000425

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



事業報告（平成6年度）

I. 展示関係

A. 収蔵品展一覧

芸術資料館陳列室

第1回 「春季展」

会 期 平成6年4月4日（月）～4月28日（木）
入場者 993人 19日間

第2回 「新収蔵品展」

会 期 平成6年6月6日（月）～7月8日（金）
入場者 752人 25日間

第3回 京都市立芸術大学学生会館竣工記念展

「名品に偲ぶ学窓の美術家たち」展
会 期 平成6年9月5日（月）～9月25日（日）
入場者 3063人 17日間

第4回 「卒業作品－昭和10年代の日本画」展

会 期 平成6年10月11日（火）～11月8日（火）
入場者 1897人 22日間

第5回 「四季と歌の絵巻－土佐派絵画資料展」

会 期 平成7年1月17日（火）～2月10日（金）
入場者 426人 18日間

◎総計 7131人（101日開室）

B. 収蔵品展展示概要

第1回 「春季展」

会期 平成6年4月4日(月)～4月28日(木)

入場者 993人 19日間

恒例となった「春季展」は、本館の所蔵資料を選択して展示するものである。今回は、絵画・工芸の各分野をまんべんなく取り上げて、学外にも知られている佳品の幾つかを紹介した。新入学生に対する収蔵品の概要紹介を目的としたからである。本館の収蔵品は、学生の卒業作品と、参考品と呼ぶ研究活動に供する資料に大別されている。卒業作品は明治27年以後のものが選択的に収蔵され、参考品は明治後半期に学校の教材として収集されたものが中核をなしている。この展示ではその内参考品の雰囲気を感じ取ってもらおうと考えた。展示作品のうち、村上華岳の画稿はこれまで軸装だったものをこの度額装に改めており、そのおひろめとなっている。

展 示 作 品

〈日本絵画〉

洛外名所絵巻		江戸時代前期
藤娘	(大津絵)	江戸時代後期
傘持美人図	(大津絵)	江戸時代後期
村上華岳	裸婦 画稿	大正9年(1920)
上村松篁	春立つ頃(絵画専門学校卒業作品)	大正10年(1921)
堂本印象	世相三題(絵画専門学校卒業作品)	大正10年(1921)
小野竹喬	風景(南国)	明治44年(1911)
榊原紫峰	花曇り 画稿(絵画専門学校卒業作品画稿)	明治44年(1911)

〈中国絵画〉

伝 辺文進	花鳥図	中国・明時代
張洽	江山無盡図巻	中国・清時代(1794)

〈油画〉

黒田重太郎	暮秋好處	昭和15年(1940)
今井憲一	撮影	昭和15年(1940)

〈染織〉

佐野猛夫	黒い潮	昭和44年(1969)
------	-----	-------------

〈漆工〉

高士談棋草花密陀絵重箱(城端製)		江戸時代後期
絵変蒔絵行厨		江戸時代後期
仙女唐子草花螺鈿重箱		中国・明時代
果樹堆朱食籠		中国・明時代

〈陶磁器〉

清水六兵衛(六代)	古稀彩水仙花瓶	昭和52年(1977)
近藤悠三	葡萄染付壺	昭和時代
野々村仁清	瀬戸釉筒水指	江戸時代前期
色絵七宝透文手焙(古清水)		江戸時代中期
尾形乾山	銹絵染付薄文四方向付	江戸時代中期
尾形乾山	色絵槍梅文水指	江戸時代中期

第2回 「新収蔵品展」

会 期 平成6年6月6日(月)～7月8日(金)

入場者 752人 25日間

恒例になった新収蔵品の展示である。平成5年度に寄贈または購入により収蔵された作品のうち買上卒業作品を割愛し展示した。絵画関係の資料が大半となる内容だが、特に千種掃雲・伊藤柏台の絵画資料が多数収蔵され、本館の収集方針となっている写生や画稿の資料が加えられたことは大変喜ばしいことであった。また、今春本学を退職された関根勢之助氏から記念寄贈を受けたことに加え、本学の前身美術専門学校の教員であった太田喜二郎の作品を購入することができたことも大きな前進であった。

展 示 作 品

後藤貞之介「月の出」	昭和32年(1957)第13回日展	額、紙本着彩	寄贈(後藤章夫氏)
後藤貞之介「月の出 画稿」	昭和32年(1957)	裏打、紙・淡彩(参考出品:平成4年度収蔵品)	
廣本 進 「廣本進絵画資料」(3点の内)			寄贈(廣本進一氏)
1. 七面鳥(雄)	大正13年(1924)	軸、紙本着彩	
2. 七面鳥(雌)	大正13年(1924)	軸、紙本着彩	
3. 写生帖	大正時代(20C)	帖、紙本墨画淡彩	
板倉星光「青梅」	明治45年(1912)	裏打、紙本淡彩	寄贈(伊藤禎三氏)
伊藤柏台「伊藤柏台絵画資料」(21点の内)			寄贈(伊藤禎三氏)
2. つむぎ	明治44年(1911)	裏打、紙本着彩	
3. 亀	明治44年(1911)	裏打、紙本着彩	
5. 六地藏附近ニテ	大正8年(1919)	裏打、紙・鉛筆	
6. 六地藏附近	大正8年(1919)	裏打、紙・鉛筆	
8. 風景	大正9年(1920)	裏打、紙・青インク	
9. 風景	大正9年(1920)	裏打、紙・インク	
10. 風景	大正9年(1920)	裏打、紙・インク	
12. 樹	大正10年(1921)	裏打、紙・インク	
14. 桜花	大正11年(1922)	裏打、紙・着彩	
15. 太秦ニテ	大正11年(1922)	裏打、紙・パステル	
16. 池畔の樹	大正13年(1924)	裏打、紙・青インク	
21. ホウセンカ	大正4年(1915)	額、紙・着彩	
千種掃雲「千種掃雲絵画資料」(77点の内)			寄贈(千種頭誠氏)
1. 日蓮上人 画稿	明治36年(1903)	裏打、紙本墨画	
3. 不動明王図画稿	明治時代(19-20C)	裏打、紙本墨画	
22. 写生帖[戻路]	明治40年頃(C.1907)	帖、紙本墨画	
25. 写生帖[海女]	明治41~42年頃(C.1908~09)	冊子、紙本鉛筆淡彩	
30. 写生帖(自然之まま)	大正6年頃(C.1917)	帖、紙本墨画淡彩	
34. 写生帖[八丈島]	大正11年頃(C.1922)	冊子、紙本鉛筆淡彩	
35. 写生帖[八丈島]	大正11年頃(C.1922)	冊子、紙本鉛筆淡彩	
49. 写生帖		冊子、紙本鉛筆淡彩	
50. 写生帖		冊子、紙本鉛筆淡彩	
51. 写生帖[上賀茂の初夏]		冊子、紙本鉛筆淡彩	
54. 写生帖[伊根]		冊子、紙本鉛筆淡彩	
「男神座像」	鎌倉時代(13~14C)	木造	寄贈(榊原吉郎氏)
関根勢之助「地下水系 B」	昭和57年(1982)	キャンパス・コテ・木	寄贈(作者)
関根勢之助「砂漠記」	昭和60年(1985)	額、紙・ドローイング	寄贈(作者)
関根勢之助「図像について(植物図鑑)」	昭和56年(1981)	ファイルブック、モノプリント・コテ	寄贈(作者)
関根勢之助「絵画時間」	昭和61年(1986)	ファイルブック、モノプリント	寄贈(作者)
太田喜二郎「山城平野の夕日」	昭和20年(1945)第1回京展	額、麻布油彩	購入

第3回 京都市立芸術大学学生会館竣工記念展

「名品に偲ぶ学窓の美術家たち」展

会期 平成6年9月5日(月)～9月25日(日)

休室：10日・11日・17日・18日

会場 (1)芸術資料館陳列室〈名誉市民と日本画・工芸の名品〉

(2)芸術大学ギャラリー〈伝統の継承と発展〉

(3)学生会館ホール〈伝統の展開と革新〉

入場者 3063人

17日間

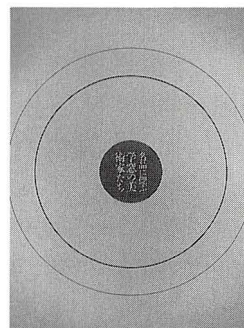
第3回収藏品展は、本学学生会館の竣工を記念する展覧会として、学外からも作品を借用する大規模なものとなった。会期は通常の展示に比べやや短くなっているが、会場を学内3箇所に設けたため、出品作品数は93点と多く、その内18点が他の博物館や所蔵者から借用した作品である。規模の拡大にともなって経費も増したが、記念事業として措置したため通常どおり入場は無料とし、ちらしがわりに招待券を印刷し配布した。この招待券の配布の効果もあってか、地理的ハンデからすれば、驚くほど多数の入場者を得ることができた。また記念展という位置付けから図録を制作し、会場で頒布した。この図録は、展覧会内容を記録し、加えて学外に学生会館の竣工をアピールする目的があり、展覧会終了後、全国の大学・博物館・図書館等に無償配布された。また、市民への開放を進めるために、会期中の大学休業日の内四日間を平常どおり開場した。



ポスター (B2 / 4色)



招待券



図録 (A4変 / 152頁)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	形状	所蔵
(1)〈名誉市民と日本画・工芸の名品〉 芸術資料館陳列室 (*名誉市民)					
1	幸野 棧嶺	秋胡妻採桑図	明18 (1885)	絹本着彩・軸装	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
2	竹内 栖鳳	驟雨一過	昭10 (1935)	紙本着彩・軸装	京都市美術館
3	西山 翠嶂	槿花	大12 (1923)	絹本着彩・軸装	京都市美術館
4	菊池 契月*	早苗図	昭9 (1934)	紙本着彩・軸装	滋賀県立近代美術館
5	川村 曼舟	蟹邨暮靄	大8 (1919)	絹本着彩・軸装	
6	土田 麦僊	髪	明44 (1911)	絹本着彩・軸装	
7	入江 波光	春 雨	明38 (1905)	絹本着彩・軸装	
8	榊原 紫峰	軍 鶏	明40 (1907)	絹本着彩・軸装	

9	村上 華岳	熊	明40 (1907)	絹本着彩・軸装	
10	小野 竹喬*	奥の細道句抄絵 田一枚植えて立ち去る 柳かな	昭51 (1976)	紙本着彩・額装	京都国立近代美術館
11	堂本 印象*	ロゴスの不滅	昭43 (1968)	紙本着彩・額装	京都府立堂本印象美術館
12	福田平八郎*	鮎	昭10 (1935)	絹本着彩・額装	個人蔵
13	徳岡 神泉	富士山	昭40頃(c. 1965)	紙本着彩・額装	個人蔵
14	山口 華楊*	樹	昭38 (1963)	紙本着彩・額装	
15	上村 松篁*	立 葵	昭46 (1971)	紙本着彩・額装	
16	山鹿 清華*	法隆寺弦月	昭31 (1956)	染職・屏風	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
17	富本 憲吉	磁器色絵金彩羊歯模様 大飾壺	昭35 (1960)	陶磁器	京都国立近代美術館
18	近藤 悠三*	柘榴染付面取壺	昭50 (1975)	陶磁器	
19	清水六兵衛	古稀彩水仙花瓶	昭52 (1977)	陶磁器	
20	森野 嘉光	緑釉窯変花瓶	昭38 (1963)	陶磁器	

(2) <伝統の継承と発展> 芸術大学ギャラリー
日本画

21	池田 遙邨	鉄鉢の中へも霞 山頭火	昭60 (1985)	紙本着彩・額装	都ホテル
22	宇田 荻邨	野々宮	昭33 (1958)	紙本着彩・額装	
23	猪原 大華	池	昭29 (1954)	紙本着彩・額装	
24	濱田 観	芥 子	昭22 (1947)	紙本着彩・屏風	
25	麻田 辨自	唐崎一之松	昭33 (1958)	紙本着彩・額装	
26	三輪 晁勢	仏法僧	昭45 (1970)	紙本着彩・額装	
27	奥村 厚一	渚	昭45 (1970)	紙本着彩・額装	
28	林 司馬	花鳥図	昭 3 (1928)	絹本着彩・屏風	
29	秋野 不矩	雨 季	昭44 (1969)	綿布着彩・額装	
30	西山 英雄	阿蘇五岳	昭63 (1988)	紙本着彩・額装	京都市美術館
31	大野 俣嵩	彼岸花蕾	昭55 (1980)	綿布着彩・額装	
32	石本 正	二人の裸婦	昭54 (1979)	紙本着彩・額装	
33	上原 卓	野なかのぼら	昭53 (1978)	紙本着彩・額装	
34	木下 章	万葉の花・秋	昭56 (1981)	紙本着彩・額装	

洋画

35	国盛 義篤	西芳寺林泉	昭23 (1948)	麻布油彩・額装	
36	伊庭伝次郎	牛窓風景	昭39 (1964)	麻布油彩・額装	
37	太田喜二郎	山城平野の夕日	昭20 (1945)	麻布油彩・額装	
38	黒田重太郎	平安春色	昭14 (1939)	麻布油彩・額装	
39	須田国太郎	走 鳥	昭28 (1953)	麻布油彩・額装	
40	川端弥之助	疏 水	昭33 (1958)	麻布油彩・額装	
41	高林 和作	藁 塚	昭38 (1963)	麻布油彩・額装	
42	伊藤 継郎	三人の裸婦	昭11 (1936)	麻布油彩・額装	
43	今井 憲一	ガーデン	昭56 (1981)	麻布油彩・額装	
44	津田 周平	室内裸婦	昭27 (1952)	麻布油彩・額装	
45	安田 謙	イスラム風静物	平 5 (1993)	麻布油彩・額装	個人蔵
46	中村 善種	余呉の釣人	平 4 (1992)	麻布油彩・額装	個人蔵
47	真野 岩夫	立 つ	昭32 (1957)	麻布油彩・額装	
48	関根勢之助	砂漠記	昭60 (1985)	紙・ドロイン グ・額装	

工芸

49	小合友之助	雨	昭28 (1953)	染色・紬・屏風	
50	稲垣稔次郎	三十三間堂内陣図	昭28 (1953)	染色・紬・屏風	

51	佐野 猛夫	凍 雲	昭43 (1968)	染色・絹・屏風
52	三浦 景生	蓮 文	昭56 (1981)	染色・紙・屏風
53	来野 月乙	遠野抄	昭63 (1988)	染色・紙・顔料 ・屏風
54	冬木偉沙夫	いざない	平 3 (1991)	漆・加飾・屏風

(3) 〈伝統の展開と革新〉 大学会館ホール
彫刻・工芸

55	建畠 大夢	夢	昭14 (1939)	ブロンズ	京都市美術館
56	松田 尚之	自刻像	昭56 (1981)	ブロンズ	京都市美術館
57	菊池 一雄	アトリエの女王様	昭50 (1975)	ブロンズ	京都市美術館
58	辻 晉堂	拾 得	昭35 (1960)	テラコッタ	
59	堀内 正和	咬み合う立方体	昭49 (1974)	鉄・ステンレス	
60	山本 恪二	フランスの男	昭54 (1979)	ブロンズ	
61	野崎 一良	渺	昭63 (1988)	木・鉛	
62	三宅多喜男	偶	昭50 (1975)	木	
63	清水九兵衛	Wig 21 (かつら21)	昭57 (1982)	アルミ合金	京都市美術館
64	藤本 能道	日 蝕	昭32 (1957)	陶磁器	
65	八木 一夫	壁 体	昭38 (1963)	テラコッタ	
66	浅見 隆三	風	昭48 (1973)	陶磁器	
67	新開 寛山	群線花瓶	昭37 (1962)	陶磁器	
68	藤平 伸	朔 北	昭62 (1987)	陶磁器	
69	鈴木 治	彌 生	平 2 (1990)	陶磁器	

近年の買上卒業・修了作品から (昭和62年度以後)

70	斎藤 高志	三美神	昭63 (1988)	染色	
71	倉田 愛子	出会いの風景 I	昭63 (1988)	麻布油彩・額装	
72	寺川 剛央	焼形 II	昭63 (1988)	陶磁器	
73	片野 満	不正療法	平元 (1989)	麻布油彩	
74	飯塚 二郎	Eyes from the under-ground	平元 (1989)	樹脂・土版	
75	岡野 香	網膜の内側の世界を見ている II	平元 (1989)	陶磁器	
76	岩津 博文	A Day In The Life(C)	平元 (1989)	シルクスクリーン	
77	平光 睦子	アトム的心臓	平 2 (1990)	麻布油彩・パネル	
78	濱田 伸子	Heaven-ward ことごとく地上から	平 2 (1990)	染織・麻レーヨン・麻	
79	村上 千穂	雫	平 2 (1990)	乾漆・蒔絵	
80	古田 道恵	ファンファーレ	平 3 (1991)	麻布油彩・額装	
81	星野 直子	Lunch Time	平 3 (1991)	リトグラフ・二面	
82	鈴木 知子	お宝豪華版	平 3 (1991)	紙・木版・額装	
83	安井 友幸	家 族	平 3 (1991)	漆・脱乾漆	
84	中谷 直子	瞬間-争鳴	平 3 (1991)	染色・着物	
85	岡村 寛生	ジャーマン・スープレックス・ホールド	平 4 (1992)	麻布油彩・額装	
86	福井 敦子	in surprise	平 4 (1992)	リトグラフ・額装	
87	渡辺 睦子	星へゆくための家	平 4 (1992)	陶磁器	
88	北原 美保	蒔絵硯箱・耀	平 4 (1992)	漆・研出蒔絵	
89	金田 勝一	ウルトラ・チョイス	平 5 (1993)	木・樹脂・油彩	
90	山田 道夫	Blue goes to his office everyday-3	平 5 (1993)	コラグラフ・シルクスクリーン	
91	竹ノ内 郁	増殖の法則 I	平 5 (1993)	陶磁器	
92	鄭 景禧	WAVING I・II	平 5 (1993)	染色・二面	
93	春名 淳一	芳 生	平 5 (1993)	乾漆	

第4回 「卒業作品－昭和10年代の日本画」展

会期 平成6年10月11日(火)～11月8日(火)

入場者 1897人 22日間

毎年開催される卒業作品の展覧として、昭和10年代に制作された京都市立美術工芸学校及び同絵画専門学校の日画卒業作品を選んだ。

この時期の卒業作品については、戦前戦中の物資の不足した時代に生まれたこともあって保存状態が悪く、これまで展示することは少なかった。しかし、近年学外に貸し出す作品も増し、近代から現代への過渡期にあったこの時代が次第に注目されるようになって、本館でもまとまった形で展示するのを感じ始めたのである。従って今回初めて公開される作品も多く、見る人は、騒然とした時代状況ながら穏やかな感触がうかがわれる作品が多いことに驚くと共に、当時の教育方針と学生の意識を垣間見ることできるだろう。学内鑑賞者にも好評を得たばかりか、外部からの来室者も数多く見られた。

展 示 作 品

西山 英雄	廃船	昭和11年(1936)	絵専選科第26回卒業	1990×2140mm
福井 末義	少女	昭和11年(1936)	絵専選科第26回卒業	1505×855
下村 正一	森	昭和12年(1937)	絵専第27回卒業	2445×2910
松本 崇郎	寒空	昭和12年(1937)	美工絵画科第44回卒業	665×883
清水 正一	レクリエーションホール	昭和13年(1938)	絵専第28回卒業	1885×1312
水田 恵三	春の山	昭和13年(1938)	絵専第28回卒業	830×933
小川 立夫	室内	昭和14年(1939)	絵専第29回卒業	1437×1107
久保 光作	塚	昭和14年(1939)	美工絵画科第46回卒業	595×940
山田 弘	餅売店	昭和14年(1939)	美工絵画科第46回卒業	690×965
中島 清	農閑	昭和15年(1940)	美工絵画科第47回卒業	874×1092
三宅 篁治	牛舎	昭和15年(1940)	美工絵画科第47回卒業	892×1038
古田 和夫	スケート	昭和16年(1941)	絵専第31回卒業	1250×720
大野 秀隆	椎の森	昭和16年(1941)	美工絵画科第48回卒業	860×1745
日ノ下淳市	坂	昭和16年(1941)	美工絵画科第48回卒業	1303×947
吉岡 茂夫	丘の樹	昭和16年(1941)	美工絵画科第48回卒業	787×1150
松田 利夫	ポプラ	昭和17年(1942)	美工絵画科第50回卒業	1144×1415
今井 守彦	波切	昭和18年(1943)	絵専第34回卒業	658×1435

《参考展示》

京都市立絵画専門学校及び同美術工芸学校「卒業制作図録」 9冊

昭和10年～昭和17年・昭和19年

京都市立絵画専門学校及び同美術工芸学校校友会 編集／芸艸堂 発行

第5回 「四季と歌の絵巻－土佐派絵画資料展」

会期 平成7年1月17日(火)～2月10日(金)

入場者 426人 18日間

例年京都市四条ギャラリーで展覧していた、本館所蔵の土佐派絵画資料を今年度は学内で公開した。主催は本館単独で行ったが、例年通り本学芸術教育振興協会の援助を得て、本館編・同振興協会発行の図録「土佐派絵画資料目録(五) 絵巻粉本(一)」を発行した。目録の編集は本学教授榊原吉郎氏と本館学芸員で行い36点の資料を掲載している。本展示の内容構成はこの目録編集作業から導かれたものである。

展示内容は土佐派絵画資料の中から絵巻の形をした下絵や模本23点を選んだもので、四季絵・月次絵と呼ばれる四季の自然と人の営みを描いたものと、歌合絵・歌仙絵といった和歌に関わるものに焦点をあてた。全て初めて公開される資料だけに、会期中は美術愛好家ばかりでなく、研究者の来場も少なかった。

展 示 作 品

七十一番職人歌合(土佐光吉)	慶長14年(1609)	紙本墨画	262×7665mm
七十一番職人歌合(土佐光吉)	慶長14年(1609)	紙本墨画	262×7417
七十一番職人歌合(土佐光吉)	慶長14年(1609)	紙本墨画	262×7917
鶴ヶ岡放生会職人歌合		紙本着彩	280×7410
東北院職人歌合	貞享4年(1687)	紙本墨画	240×4722
東北院職人歌合	元禄5年(1692)	紙本淡彩	255×2450
東北院職人歌合	宝永2年(1705)	紙本墨画	328×3405
東北院職人歌合		紙本着彩	265×12212
三十六歌仙絵巻		紙本淡彩	353×9864
方角歌絵巻		紙本墨画	268×1855
五色歌絵巻	宝永3年(1706)	紙本墨画	235×2528
名所歌絵巻	寛文2年(1662)	紙本墨画	252×6330
名所歌絵巻		紙本墨画	284×3375
吉野歌絵巻		紙本墨画	294×3680
松島図	延宝5年(1677)	紙本墨画	283×1495
和歌浦図	元禄13年(1700)	紙本墨画	242×1685
四季花鳥図(土佐光芳)	宝暦2年(1752)	紙本墨画	142×2020
四季花鳥図(土佐光淳)	宝暦2年(1752)	紙本墨画	138×1411
十二月絵巻		紙本墨画	335×3200
四季行事絵巻	享保3年(1718)	紙本墨画	285×9457
年中行事絵巻(土佐光芳)	正徳3年(1713)	紙本墨画	353×6015
年中行事絵巻(土佐光芳)	元文3年(1738)	紙本墨画	267×1995
積奠図		紙本墨画	350×4090

II. 教育普及関係

A. 収蔵品貸出状況

本学外に貸し出された収蔵品は下記のとおりである。

平成6年度総計 16件 29点

作品名	貸出先	展覧会名	会期
中尾紀行－空間を刺激する棚「ビンゴ」	中尾紀行	美術ドリル	94. 4. 15～ 4. 25
土佐派絵画資料－嵯峨天皇像 (No.86・87) 2点	京都府京都文化博物館	大唐長安展－京都のはるかな源流をたずねる－	94. 9. 9～11. 27
宇田荻邨－野々宮	京都国立近代美術館	日本の美－伝統と近代	94. 10. 12～12. 18
奥村厚一－瀨	松伯美術館	創造美術の創立会員たち	94. 10. 21～11. 27
栗本夏樹－儀式	神奈川芸術文化財団	漆の現在性	94. 7. 6～ 7. 24
小塩薫－痕跡からの結晶	小塩薫	小塩薫展－CERAMIC	94. 9. 1～ 9. 28
土佐派絵画資料－平家物語模本 / 平治物語絵巻模本 (三条殿夜討)	岡山県立博物館	平安から鎌倉へ	94. 10. 22～11. 27
中尾紀行－空間を刺激する棚「ビンゴ」	中尾紀行	信濃川テクノポリス国際デザインコンペティション'94	94. 9. 15～10. 23
阿弥陀聖衆来迎図模本3幅 扇面古写経下絵模本2巻 一遍上人絵伝模本	平安建都1200年記念 展覧会「甦る平安京」 実行委員会	甦る平安京	94. 9. 22～10. 23
大江山絵詞模本 源氏物語絵巻模本 九相図巻模本 住吉物語絵巻模本	斎宮歴史博物館	平安の姫君たち	95. 1. 15～ 2. 19
菊川沙－立像	山田沙	菊川沙個展	95. 2. 13～ 2. 19
本多貞翠－正遷宮 高木富三－インクライン	京都国立近代美術館	京を描く	95. 1. 5～ 2. 14
村上華岳－羆	三重県立美術館	動物美術館	95. 4. 1～ 5. 7
藤娘 (大津絵) 傘持美人図 (大津絵)	大津歴史博物館	大津絵	95. 4. 29～ 5. 28
一遍上人絵伝模本 (巻1・7) 2巻	京都府山城郷土資料館	村をくぎるもの －村境の民俗－	95. 4. 25～ 6. 11
小野竹喬－南国	京都府京都文化博物館	小野竹喬展	95. 4. 8～ 5. 14

*員数なきものは全て1点

B. 収蔵品学内使用状況

I. 本学内に於いて館外使用した収蔵品は下記のとおりである。

総計 3件 7点

資料名		目的	貸出先	使用場所
土佐派絵画資料－寒山拾得図	1枚	模写	日本画研究室	模写室
岩井弘「聖オルソラ物語模写」	2面	展示	図書展示委員会	四条ギャラリー
林司馬「平等院鳳凰堂板絵模写」	4枚	模写	日本画研究室	模写室

II. 大学会館竣工式典にちなんで、収蔵品を臨時に館外展示した。

名称：京都市立芸術大学大学会館竣工式典特別展示
「芸術資料館収蔵品による 海外現代作家版画展」

会期：平成6年7月1日（金） 10：30～15：00

会場：大学会館 小ギャラリー

展 示 作 品

DALI, SALVADOR	蛙の夢	リトグラフ, 額
GERTSCH, FRANZ	作品	リトグラフ, 額
SAPORETTI, ADOLFO	ファンタジー	リトグラフ, 額 (1969)
HAUSNER, RUDOLF	Eva Fundamental	リトグラフ, 額 (1965)
RABL, WOLFGANG	しづく	エッチング, 額 (1973)
STEINER, ERNST	ウィーンの家々	エッチング・アクアチント, 額 (1965)
BREMER, UME	宇宙からのメッセージ	エッチング・アクアチント, 額 (1972)
KLITSCH, PETER	タヒチの家	リトグラフ, 額 (1972)
SERIENT, HERMAN	裸婦	モノタイプ, 額 (1969)
DINE, JIM	Picabia I	リトグラフ, 額 (1971)
WUNDERLICH, PAUL	Auton tascine par daniel	リトグラフ, 額 (1971)
SEGAL, GEORGE	作品	リトグラフ, 額
SEGAL, GEORGE	PORTRAITS:WALTER	リトグラフ, 額 (1987)
SEGAL, GEORGE	GIRL IN BRIGHT RED SHIRT :FRONT VIEW	リトグラフ, 額 (1975)
ALECHINSKY, PIERRE	Soleil noir 2	エッチング・アクアチント, 額 (1984)
ALECHINSKY, PIERRE	Chute des anges legitimistes	エッチング・アクアチント, 額 (1988)

C. 収蔵品補修状況

今年度補修修理を行った収蔵品は下記のとおりである。

総計 4件 30点

名称	点数	類別	補修内容
小山徳三郎「ショウウインドウ図案」	1面	図案卒業作品	扁額装
菊池芳文「鯨」「流れ」	1巻	参考品	改装(卷子)
菊池芳文「狐」	1幅	参考品	改装(軸)
土佐派絵画資料	27巻	参考品	卷子装

D. 収蔵品撮影掲載状況

本館収蔵品撮影掲載許可は下記のとおりである。

総計 34件 112点

作品名	掲載者	掲載書紙名	発行月
尾形乾山「色絵檜梅文水指」 永楽保全「交趾写額梅香合」 初代清水六兵衛「象嵌立鶴文土瓶」 御菩薩焼「色絵松竹梅文角四方皿」 押小路焼「色絵雲丸文風呂形香炉」 清水焼「色絵秋草図涼炉」	淡交社	『平安京1200年』 (平安建都1200年記念協会発行)	1994. 7
絵手本のうち 菊池芳文「桜花図」「藤」「松」 「葛」「紅葉」「芙蓉」 山元春挙「黄蜀葵」「竹」「蓮」	日貿出版社	『季刊水墨画』68号	1994. 12
徳岡神泉「水汀」「晩秋」	朝日新聞社	『アサヒグラフ別冊・徳岡神泉』	1994. 7
土佐派絵画資料のうち 土佐光芳「千利休像」	淡交社	『淡交』7月号	1994. 7
土佐派絵画資料のうち 土佐光茂「足利義晴像」 源式「足利義輝像」	旺文社	『室町御所・墨の花』	1994. 9
木下章「万葉の花・春」	因幡万葉歴史館	常設展示用写真パネル	1994. 10
模本「伴大納言絵詞」	京都建築専門学校	市民講座広報ポスター	1994. 10
土田麦僊「髪」 山下磨起「ユウカリの図」	日経B P社	『日経あーと』10月号	1994. 10
模本「源氏物語絵巻」 「源氏物語絵巻詞書」 「年中行事絵巻」 「平治物語絵巻」	京都市歴史資料館	映画『平安京400年の歩み』	1995. 1
加守田章二「壺」	新集社	『加守田章二作品集』	1994. 10
絵手本のうち 三宅呉暁「柳に燕」「木蓮にルリ鳥」 竹内栖鳳「鶏」 川村曼舟「鴨」「瓦に雀」 山元春挙「粟にひたき」	日貿出版社	『季刊水墨画』第69号	1994. 8

模本「阿弥陀聖衆来迎図」 「春日権現記絵巻」	便利堂	『甦る平安京』展絵葉書	1994. 10
ニューギニア美術資料のうち 「棟飾り」	ティービーエス・ブリタニカ	『ブリタニカ国際大百科事典』	1995. 7
模本「阿弥陀聖衆来迎図」 「源氏物語絵巻」「一遍聖絵」 「伴大納言絵詞」 「年中行事絵巻」「類聚雑要抄」 「北野天神縁起」「鳥獸戯画」 「扇面古写経」「平治物語絵巻」 「九相図巻」「春日権現記絵巻」 「嵯峨天皇画像」	『甦る平安京』 実行委員会	『甦る平安京』展示パネル	1994. 10
宇田荻邨「野々宮」	アートセンター	『日本の美』展絵葉書	1994. 10
土佐派絵画資料のうち 「喜多見勝忠像」「武野宗瓦像」 「長谷川藤広像」「三宅亡羊像」 「沢庵宗彭像」	清文堂出版	『美術史の断面』	1994. 11
模本「年中行事絵巻」	国立歴史民俗 博物館	『描かれた祭礼』展示パネル	1994. 11
土佐派絵画資料のうち 「原叟宗左像」「天然宗左像」 「久田宗全像」	青黄社	『千家流のわび茶』	1995. 3
尾形乾山「色絵檜梅文水指」 永楽保全「交趾写額梅香合」 初代清水六兵衛「象嵌立鶴文土瓶」 御菩薩焼「色絵松竹梅文角四方皿」 押小路焼「色絵雲丸文風呂形香炉」 清水焼「色絵秋草図涼炉」	淡交社	『平安京1200年』 (淡交社発行市販本)	1994. 11
模本「一遍聖人絵伝」のうち 「福岡の市・四条京極の 釈迦堂」	思文閣出版	『民衆生活の日本史・火』	1994. 11
ニューギニア美術資料のうち 中流地方アイボム「壺」 (6点)	東京美術	『精霊と土と炎—南太平洋の土器』	1994. 11
絵手本のうち 三宅呉暁「筍」「蔓」「栗鼠」 竹内栖鳳「蓮」「臥牛」 谷口香嶠「瓢箪」	日貿出版社	『季刊水墨画』第70号	1994. 10
本多貞翠「正遷宮」	便利堂	『京を描く』展絵葉書	1995. 1
模本「年中行事絵巻」のうち 「今宮祭」	淡交社	『淡交』2月号	1995. 2
土佐派絵画資料のうち 「今井宗久像」 「大文字屋宗閑像」	河原書店	『茶会記の風景』	1995. 3

絵手本のうち 三宅呉暁「つつじに鯉」「比目魚」 竹内栖鳳「鯉」「鯛」 菊池芳文「鯨」	日貿出版社	『季刊水墨画』第71号	1995. 1
小合友之助「雨」	講談社インターナショナル	『ろう染の世界』	1995. 6
模本「末吉船絵馬」	モービル石油	『Art of the Seven Seas』	1995. 7
ニューギニア美術資料のうち 「仮面（セビック河地方）」 「神像（頭蓋骨彫刻）」	信濃毎日新聞社	『世界美術史・この一点』	1995. 2
模本「源氏物語絵巻」のうち 東屋の場面	斎宮歴史博物館	『日本の櫛』展示パネル	1995. 4
土佐派絵画資料のうち 「志野宗信像」 「三宅宗丹両親像」	三井文庫	『三井文庫論叢』28号	1995. 7
土佐派絵画資料のうち 「原叟宗左像」「天然宗左像」 「久田宗全像」	青黄社	『千家の茶の展がり』	1995. 7
田村宗立旧蔵粉本のうち 「孔雀明王像」「善女龍王像」 「天照大神像」など12点	講談社	『民族藝術』第11号	1995. 4
模本「扇面法華経」のうち 井戸端の風景	京都市埋蔵文化財 研究所	『リーフレット京都』	1995. 4

注：掲載を要しない研究のための撮影や手続きをしても使用しなかった掲載許可などについては、割愛している。また、掲載を要しない研究のため等の撮影は挙げていない。

E. 博物館学実習受入状況

本学博物館学課程の博物館学実習について本施設では下記の者を受入れた。

熊本 恭子	小西 夏穂	藤森 美夏	和田 易子	笹山 留衣
赤井 香予	東 由起子	猪狩 郁子	上尾のり子	北原史未江
竹内友希子	伊達 優子	松永 江理	丸山 聡子	物部 容子
藪下 真子	大橋 伸正	古鍛冶達也	寺井 陽子	藤井 知央
尾崎 仁美	片山 晋	槇原 彩子	倉科 勇三	山本 英幸
鈴木 淳子	杉田 尚美	森山 貴之	DEL PESCE, LAURA	加山 七海

以上30名

F. 特別閲覧許可状況

本館収蔵品の特別閲覧状況は下記の通り。

学内関係者	1 件
学外特志者	3 件
総計	4 件